

## 会 議 録

会議の名称	令和2年度 第3回障がい福祉推進協議会 (書面会議)
開催日時	令和3年3月2日 (火)
開催場所	—
会長等氏名	遠藤伸一会長 露木とし副会長
委員氏名	遠藤 伸一 (開成町身体障害者福祉協会) 明石 功香 (開成町心身障がい児者と家族の会かるがも) 藤曲 博美 (開成町民生委員児童委員協議会) 津田 竜児 (合力の郷) 近藤 光伸 (生活介護 トゥモローランド) 藍 智仁 (放課後デイサービストゥモローランド開成みなみ) 露木 とし (相談支援センターりあん) 西田 統 (小田原保健福祉事務所足柄上センター) 宇田 晃 (開成町教育委員会) 添田 美恵子 (県立小田原養護学校)
欠席者氏名	-
事務局	福祉介護課課長 渡辺 雅彦 福祉介護課班長 頼住 順子 福祉介護課主任主事 萩原 将司
議 題	(1) パブリックコメント結果 (2) 計画原案について (3) 次年度以降の会議について

(会議の経過)

委員名	委員意見・決定事項等
A 委員	<p>(1) パブリックコメント結果</p> <p>緊急事態宣言下ということもあり目の前の生活に追われて周知されていなかったのもあると思います。</p> <p>また、計画に対する意見では難しかったりするので、「困ったこと」など気軽に意見できる形式にすると当事者の声を聞いた計画も立てられ関心も高まると思います。</p> <p>B 委員 意見書の提出がなかったようですが、広報・おしらせ版やホームページでは周知が難しく、また周知でき関心があっても意見を提出するハードルが高いように思います。</p> <p>C 委員 ホームページなどの周知は良かったと思います。SNS などの媒体も検討すると更に周知がしやすくなるのではないのでしょうか。</p> <p>D 委員 パブリックコメントで意見なしというもの寂しい限りですが、委員限りでも良いのですが、期間内のアクセス件数、閲覧件数などがわかるようであれば、お示しいただくことは可能でしょうか。</p> <p>事務局 A 委員のご指摘の件ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大等により生活そのものが大きく変化しています。</p> <p>休校が余儀なくされ、企業等の働き方も変わり、その結果、経済的な課題など今までにない危機の中で、目の前のことが精一杯な状況の方がほとんどだったと思われま</p> <p>事務局の準備不足もあり、本来であればアンケート調査の実施などから利用者の声も聴いた計画策定であれば関心も高まったかと思</p> <p>います。また、当事者団体への説明など丁寧な対応も必要だったと反省しております。</p> <p>3 年後に障害者基本法に基づく計画及び今回策定した計画の次期計画を策定することになります。その節には、当事者の皆様の声を確認する手法を確立し策定してまいります。</p> <p>B 委員のご指摘ですが、パブリックコメントについては町の条例で期間や周知方法、手法など定められております。今回、一連の手続きに基づき実施いたしましたが、同時期に実施した福祉介護課所管分 3 計画に対し 1 件という結果となっております。</p> <p>C 委員のご指摘にありましたが、SNS などの周知方法については、庁内で検討したいと考えております。</p> <p>D 委員のご指摘の件ですが、実施期間中のアクセス件数は 1 7 9 件でした。</p> <p>(2) 計画原案について</p> <p>A 委員 承認いたします。(E 委員・F 委員・G 委員・H 委員)</p>

(会議の経過)

B 委員	第3節の共同生活援助（グループホーム）は今後の課題として、とても興味深いです。開成町の現状が理解できました。今後の民生委員児童委員活動の参考とさせていただきます。
I 委員	目標に対して良い言葉の表現であると思います。
C 委員	原案の作成、お疲れ様です。特段の意見等はありません。よろしくお願いします。
J 委員	原案のとおりお願いいたします。
D 委員	基本目標1（P12）は、文節が長すぎるので、読みにくさがあるかと思います。以下の修正方法もあると思います。 <u>原案</u> 障害のある方が、（削除提案）住み慣れた地域で自立した生活と社会参加を実現するためには、障がいの有無に関わらず、誰もが自ら選択・決定を行うことができる環境を整備する必要があります。 <u>修正方法1</u> 障害のある方が、住み慣れた地域で自立した生活と社会参加を実現するためには、『障がいの有無に関わらず、誰もが自ら選択・決定を行うことができる環境』を整備する必要があります。 <u>修正方法2</u> 障害のある方が、住み慣れた地域で自立した生活と社会参加を実現するためには、『すべての町民が、誰もが自ら選択・決定を行うことができる環境』を整備する必要があります なお、基本目標6の修正は、妥当と考えます。
事務局	計画原案のご承認ありがとうございます。 D委員のご指摘部分ですが、たしかに文節が長く読みにくくなっている点と主語の削除によりわかりにくさも増す可能性があることから、修正方法1を採択させていただきます。 B委員が所属する民生委員児童委員協議会にも計画についてご説明する機会を設けさせていただきたいと考えております。
B 委員	<b>（3）次年度以降の会議について</b> 現状のようなコロナ禍や今後の状況に応じて書面会議やリモート会議は必須だと思いますが、一定の条件を満たした時は対面で意見を交換できる通常会議もできると良いと思います。
I 委員	皆様で直接の意見交換ができると幸いです。
G 委員	コロナウイルス状況によって書面会議へ変更していただくなど、今年度と同様に臨機黄変に実施していただけると幸いです。

(会議の経過)

C 委員	コロナの影響をまだ受けての様々な対応になると思います。状況を鑑みた、オンラインでの会議なども検討していくのが良いかと思われます。
D 委員	計画進行管理の確認の場が必要と考えます。新型コロナウイルスの感染状況次第ですが、リモート会議の開催を視野にされたらいかがでしょうか。
H 委員	今年度は、新型コロナ感染予防を考えながらの開催ということで、様々な会議が書面又はリモートとなりました。書面会議は、他の出席者の質問や意見もわからないまま、質疑等も深められず残念に思いました。また、関係者で顔を合わせられる良い機会だとも思っています。今年度の対応でリモートなどに対応できる準備も整ってきたかと思うと（各関係機関の対応が可能であれば）、次年度以降同様の状況の際は、リモート開催でもよいのではと思います。
事務局	今年度は、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた町の基本方針」に基づき、会議開催方法について制限がありました。またリモート会議の環境も整いつつありますが、回線負荷によって会議主催者側（ホスト側）のリモートが中断するなどの現象など改善を図ってきたところです。 I 委員、H 委員のご指摘のとおり、本来であれば地域支援のネットワーク形成という点で「顔の見える関係性」の中で実施することに意義があります。しかしながらワクチンの接種などさまざま課題が残されているなかでは、リモート会議（場合によっては一部役員集合のハイブリッド会議）なども検討していくこととなります。 またD 委員のご指摘の点で、前期計画の欠ける点として計画進行管理の確認がありません。進行管理を確実な形としてまいります。
B 委員	(4) その他 前回、災害時における障がい者への支援体制は進めているとの回答でしたが、より具体的な成果目標が知りたいです。
I 委員	日頃より取りまとめをはかっていただき、本当にありがとうございます。
G 委員	今後、開成町内で事業所を増やしていく方針です。ご指導・ご教示・ご意見等いただけると幸いです。またご協力できることがありましたら、いつでもお声かけいただければと存じます。よろしくお願いいたします。
C 委員	基本目標4にもかかってきますが、地域共生社会の実現を目指すために、保育・教育機関との連携を行いながら、幼少期、学齢期からの障がいやLGBTを受け入れられる教育を進めていけたら素晴らしいと思います。
J 委員	広域の福祉情報など発信できる場として活用できると良いです。

(会議の経過)

D 委員	<p>書面会議にて、丁寧な返答ありがとうございます。書面会議の場合、委員・事務局等関わる方々全てが不慣れな中でやっていただいたことと思います。総論的な意見交換はある程度達成されたかと思いますが、町・社協より各論にかかる論点があれば「提案」「趣旨」を入れた形で意見を求めると、書面会議でも深まるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>委員の皆様、本当にありがとうございました。</p> <p>皆様のご意見・ご提案に対し、事務局も不慣れな書面会議により双方のやりとりが見えにくく、実際にどのように意見が反映されたのか見えにくくなったものもありました。この場でお詫びいたします。</p> <p>引き続き次年度以降の会議運営の参考とさせていただきます。</p> <p>今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。</p>